

令和4年8月4日  
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直 通：257-6972
--

## 令和4年度病害虫発生予報第5号について

今後、発生が予想される水稻、大豆、果樹、野菜・花きの病害虫の発生量や、防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 8月上旬～8月下旬

2 予報内容

(1)水 稻

**紋枯病**の発生は**多**と予想される。防除を実施していないほ場では、発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

**斑点米カメムシ類**の発生は**多**と予想される。高温乾燥時には水田への侵入が促進されるので、防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。【令和4年度病害虫発生予察注意報第2号(令和4年8月4日付)参照】

**ツマグロヨコバイ**の発生は**やや多**と予想される。今後の発生状況に留意する。

(2)大 豆

**カメムシ類**の発生は**多**と予想される。幼莢期から子実肥大期に必ず防除を実施する。

**ハダニ類**および**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**フタスジヒメハムシ**の発生は**やや多**と予想される。汚斑粒の発生要因となるため、子実肥大期の防除を徹底する。

(3)果 樹

**ナシ黒斑病**の発生は**やや多**と予想される。耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

**リンゴ斑点落葉病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

**ハダニ類**の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。また、発生源となる下草を刈り取った後、防除する。

**果樹カメムシ類**の発生は**やや多**と予想される。山林に近い園では特に被害が多くなる傾向があるので、園内への侵入に十分注意する。

#### (4)野菜・花き

**軟腐病**の発生は**多**と予想される。作業中は作物を傷つけないよう注意するとともに、害虫防除を徹底する。

**ネギ黒斑病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

**ハダニ類**および**ネギハモグリバエ**の発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**ハスモンヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

**シロイチモジヨトウ**の発生は**やや多**と予想される。若齢期の幼虫の防除を徹底する。

※農薬の使用に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。